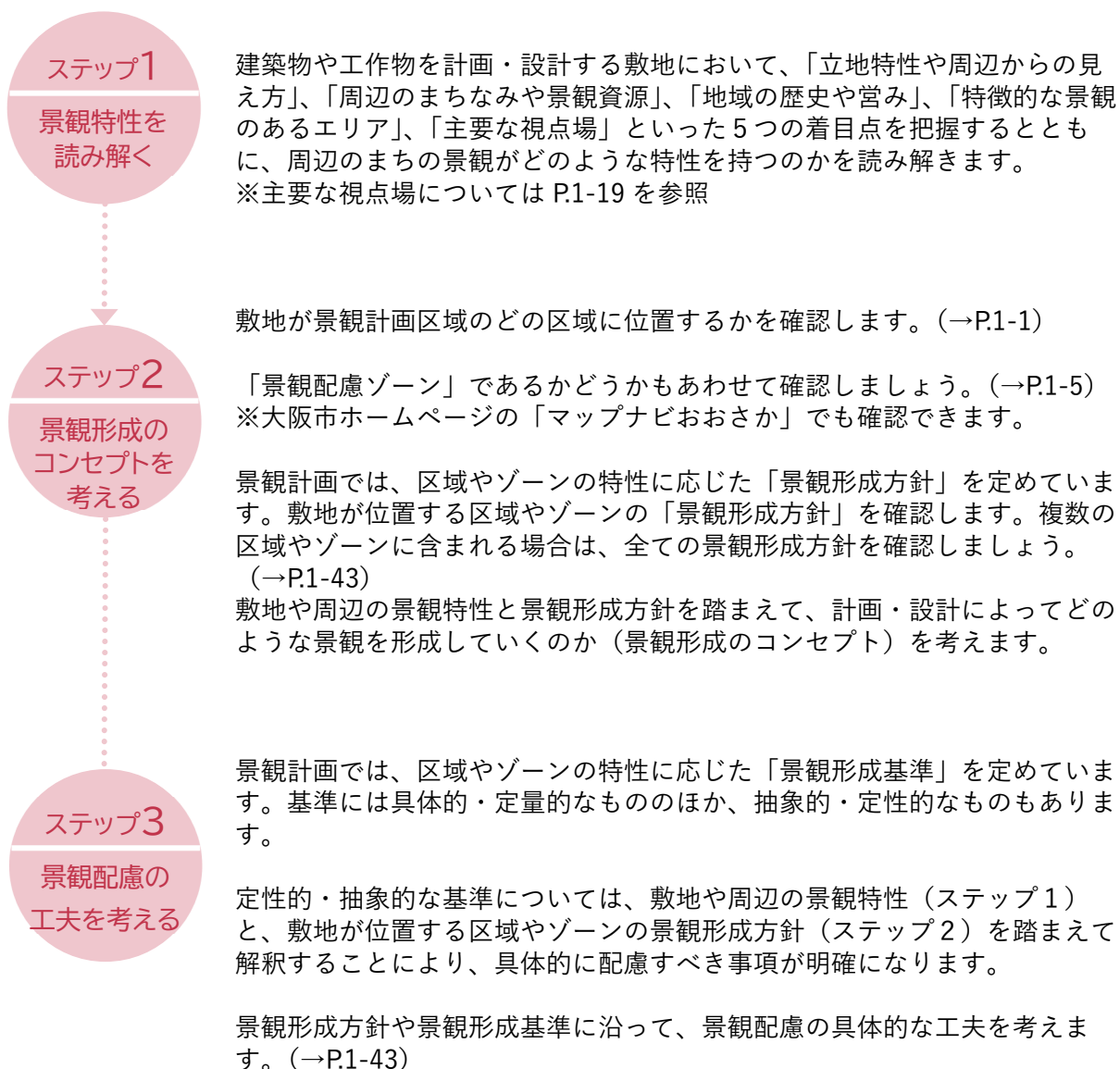


2. 景観形成の手順

周辺景観に配慮した地域の景観形成に資する建築物や工作物を計画・設計するため、次の手順を参考に検討を進めましょう。



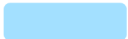
着目点5：主要な視点場

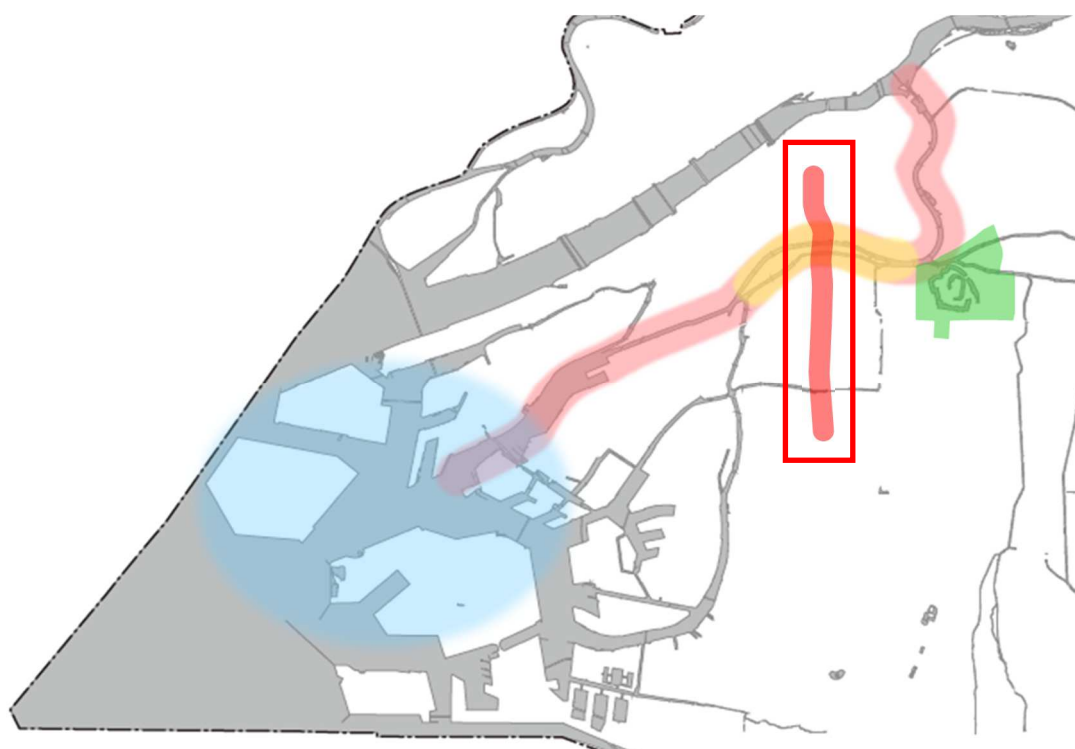
視点場とは、視対象（眺めの対象）を眺望するために設置された場所又は眺望することができる場所のうち、不特定多数の人が自由に立ち入ることができ、眺望できる場所です。

計画する敷地を中遠景に望む主要な視点場からの見え方を確認するとともに、周辺に景観資源となるものがある場合は、それらの見え方についても確認しましょう。

なお、景観計画では、古くから市民が誇りとする魅力的な眺めが生み出された「大阪城公園周辺」、「中之島等」、また、大阪の魅力を世界に発信する絶好の機会を有した「ベイエリア」及び大阪のメインストリートとして我が国でも類のない風格のあるシンボリックな見通し景観を形成する「御堂筋とその沿道」の下図に示す4箇所の大阪を代表するエリアを対象としており、ここでは各エリアにおける主要な視点場と配慮すべき景観資源の例を次に示しています。

大阪を代表するエリア

眺望・ 夜間景観	眺望・ 夜間景観		大阪城公園周辺（大阪城景観配慮ゾーン）
			ベイエリア
			御堂筋とその沿道（道路景観配慮ゾーン 御堂筋）
眺望景観	眺望景観		中之島等
			河川景観配慮ゾーン 天満橋～船津橋・端建藏橋
夜間景観	夜間景観		〃
			河川景観配慮ゾーン 大川・堂島川・土佐堀川・安治川



大阪城公園周辺の例

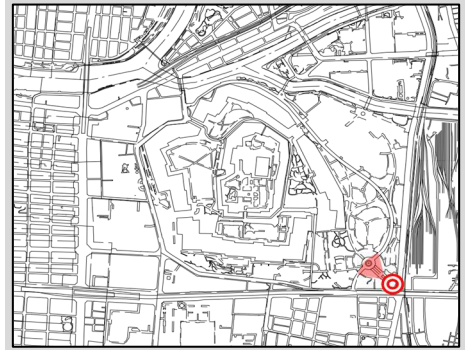
エリア	主要な視点場	配慮すべき主要な景観資源
京橋	⑦大阪歴史博物館展望台	大阪城天守閣、大阪城公園、 クリスタルタワー
	⑧難波宮跡公園	
	⑨大阪城天守閣展望台	
OBP (大阪ビジネスパーク)	④OMMビル展望台	大阪城天守閣、大阪城公園、 クリスタルタワー
	⑦大阪歴史博物館展望台	
	⑧難波宮跡公園	
	⑨大阪城天守閣展望台	
大阪城公園周辺 (天満橋)	①森ノ宮駅	大阪城天守閣、大阪城公園、 大阪府庁本館
	⑤高麗橋通（谷町1交差点）	
	⑨大阪城天守閣展望台	
大阪城公園周辺 (谷町四丁目)	②新鳴野橋・城見緑道	大阪城天守閣、大阪城公園、 大阪府庁本館
	⑨大阪城天守閣展望台	
大阪城公園周辺 (森之宮)	③大坂橋	大阪城天守閣、大阪城公園
	④OMMビル展望台	
	⑤高麗橋通（谷町1交差点）	
	⑥大阪府庁前	
	⑨大阪城天守閣展望台	



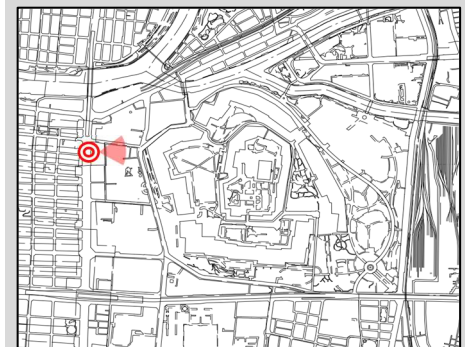
※②,⑧の視点場は、代表的な地点を図示しており、周辺の公共空間からの見え方も確認しましょう。

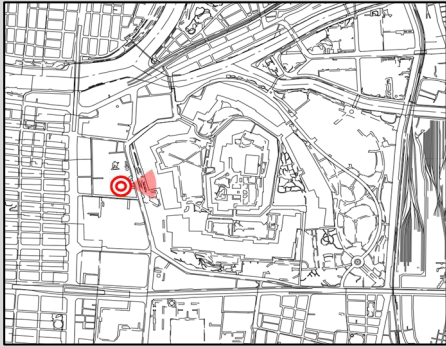
【代表的な視点場からみた景観の特性】

エリア	大阪城公園周辺（天満橋）
視点場	①森ノ宮駅
景観の分類	眺望景観（ランドマークへの眺め）・夜間景観（個のあかり）
景観特性	●公園の緑を前景とした大阪城への眺望景観 森ノ宮駅出口は、大阪城公園のエントランスの一つであり、公園のアプローチ空間の先に緑に浮かぶ大阪城天守閣が見え、来訪者の期待感に応える「もてなし」の景観を形成しています。

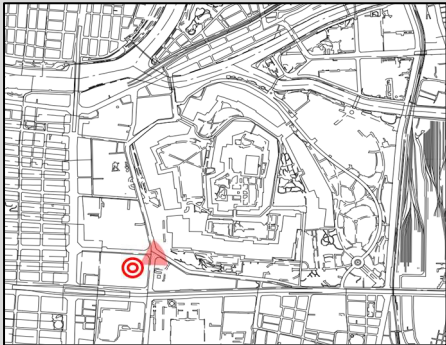


エリア	大阪城公園周辺（天満橋）
視点場	⑤高麗橋通（谷町1交差点）
景観の分類	眺望景観（ランドマークへの眺め）
景観特性	●通り越しの大阪城への眺望景観 高麗橋通の東の先は豊臣時代の大阪城天守閣の位置にあたり、この通りでは両側の街角に建てられた櫓屋敷の間を通して大阪城天守閣を望むという構図が得られていたと考えられ、高麗橋通からの大阪城天守閣への眺めは歴史を感じさせる景観を形成しています。

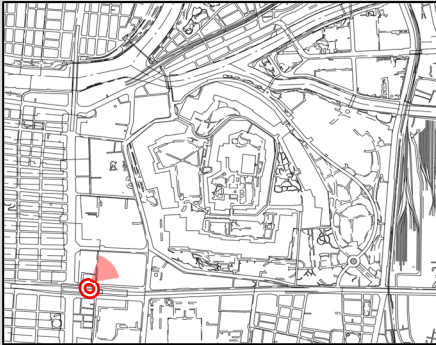


エリア	大阪城公園周辺（森之宮）	
視点場	⑥大阪府庁前	
景観の分類	眺望景観（ランドマークへの眺め）	
景観特性	●石垣を前景とした大阪城への眺望景観 稲荷の祭礼が行われる初午の日に、市民に開放された馬場に茶屋が出され、凧揚げや後楽に興じる人々で賑わったとされています。馬場があったものと考えられる大阪府庁前からの大阪城天守閣への眺めは、過去から市民に親しまれたものであり、当時から残る石垣越しに見る大阪城天守閣は歴史を感じさせる景観を形成しています。（参考：大阪市立図書館デジタルアーカイブ）	



エリア	OBP（大阪ビジネスパーク）	
視点場	⑦大阪歴史博物館展望台	
景観の分類	眺望景観（ランドマークへの眺め）	
景観特性	●高層ビル群を背景とした大阪城への眺望景観 大阪ビジネスパークの高層ビル群を背景に大阪城天守閣を俯瞰でき、歴史的ランドマークと現代的摩天楼とのコントラストが、本市の発展と文化の重層を思わせる景観を形成しています。	



エリア	OBP（大阪ビジネスパーク）	
視点場	⑧難波宮跡公園	
景観の分類	眺望景観（ランドマークへの眺め）	
景観特性	●難波宮公園のオープンスペースを前景とした大阪城への眺望景観 古代、大化の改新による難波遷都の後、造営された難波宮の旧跡であり、復元された大極殿からは、大阪ビジネスパークのビル群を背景に大阪城天守閣が眺望でき、大阪の古代、中近世、現代が一望できる景観を形成しています。	



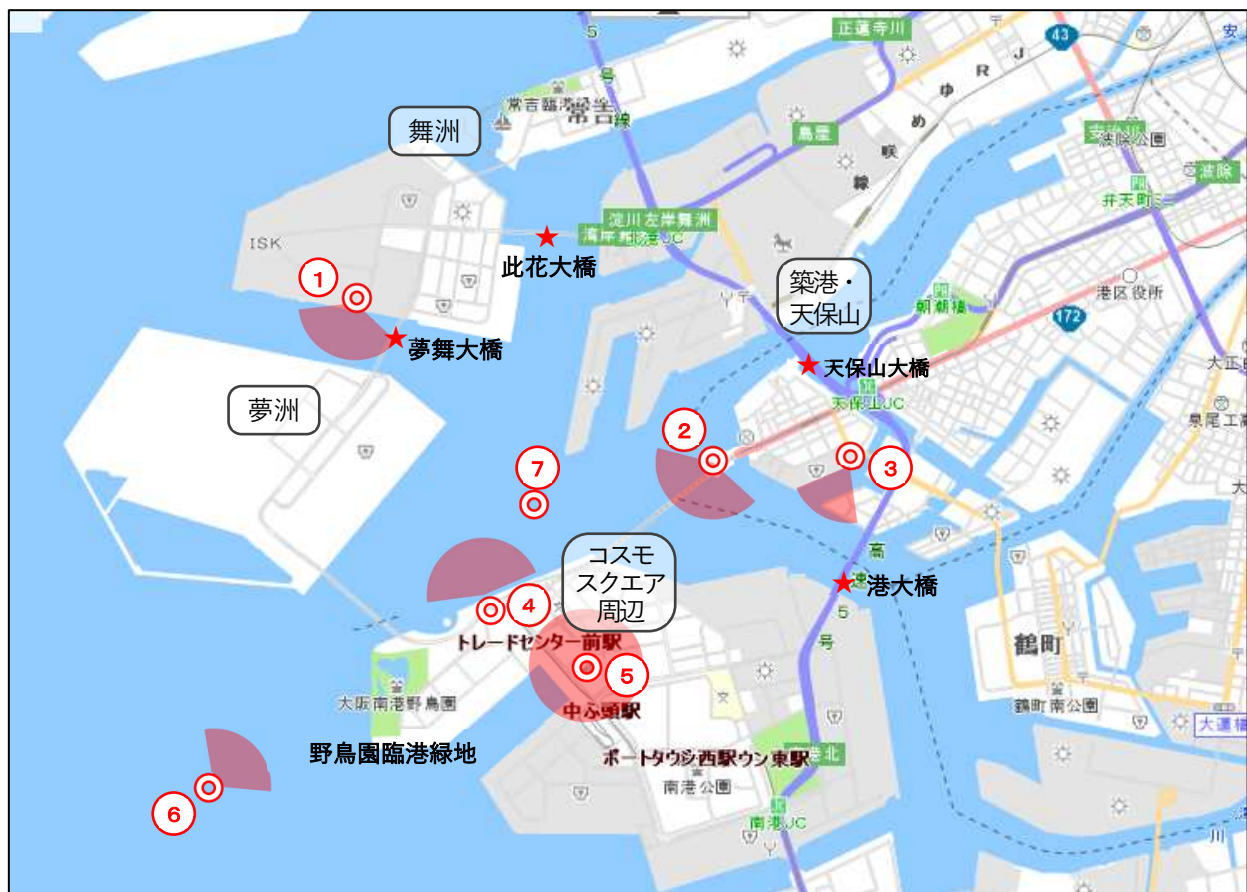


エリア	大阪城公園周辺（谷町四丁目）	
視点場	⑨大阪城天守閣展望台	
景観の分類	眺望景観（見渡す眺め）	
景観特性	●公園の緑やオープンスペースを前景としたビル群への眺望景観 大阪城の堀や現代のビル群など、各年代の景観要素を同時に見ることができ、歴史の重層性を感じさせる魅力ある景観を形成しています。	



ベイエリアの例

エリア	主要な視点場	配慮すべき主要な景観資源
コスモスクエア 周辺	②ダイヤモンドポイント（築港・天保山）	夕陽、港大橋、野鳥園臨港緑地
	③プロムナード（築港・天保山）	
	⑥⑦船上	
築港・天保山	④シーサイドコスモ（コスモスクエア周辺）	港大橋、天保山大橋
	⑤大阪府咲洲庁舎展望台（コスモスクエア周辺）	
	⑦船上	
夢洲	①シーサイドプロムナード（舞洲）	夕陽、夢舞大橋
	②ダイヤモンドポイント（築港・天保山）	
	④シーサイドコスモ（コスモスクエア周辺）	
	⑤大阪府咲洲庁舎展望台（コスモスクエア周辺）	
	⑥⑦船上	
舞洲	④シーサイドコスモ（コスモスクエア周辺）	夢舞大橋、此花大橋
	⑤大阪府咲洲庁舎展望台（コスモスクエア周辺）	
	⑦船上	



※①,②,③,④の視点場は、代表的な地点を図示しており、周辺の公共空間からの見え方も確認しましょう。
 ※⑥,⑦の視点場は、代表的な地点を図示しており、周辺の海上からの見え方も確認しましょう。

【代表的な視点場からみた景観の特性】

エリア	夢洲
視点場	①シーサイドプロムナード（舞洲）
景観の分類	眺望景観（見渡す眺め）・夜間景観（水辺のあかり）
景観特性	●対岸から海面越しに広範囲に見渡す眺望景観 海面越しに望む大規模な工作物や西の海に沈む夕陽は、大阪の海の玄関口にふさわしい、大スケールなパノラマ景観を形成しています。



エリア	コスモスクエア周辺
視点場	②ダイヤモンドポイント（築港・天保山）
景観の分類	眺望景観（見渡す眺め）・夜間景観（水辺のあかり）
景観特性	●対岸から海面越しに広範囲に見渡す眺望景観 海面越しに望む大規模な工作物や建築物群は、大阪の海の玄関口にふさわしい、大スケールなパノラマ景観を形成しています。



エリア	築港・天保山
視点場	④シーサイドコスモ（コスモスクエア周辺）
景観の分類	眺望景観（見渡す眺め）・夜間景観（水辺のあかり）
景観特性	●高所から市街地を広範囲に俯瞰する眺望景観 六甲山系を背景に海面越しに望む大規模な工作物や西の海に沈む夕陽は、大阪の海の玄関口にふさわしい、大スケールなパノラマ景観を形成しています。



エリア	築港・天保山
視点場	⑤大阪府咲洲庁舎展望台（コスモスクエア周辺）
景観の分類	眺望景観（見渡す眺め）・夜間景観（水辺のあかり）
景観特性	●高所から市街地を広範囲に俯瞰する眺望景観 高所から俯瞰する大規模な建造物を中心とした海辺のまちなみは、複雑な海岸線が景観に奥行きを与え大スケールなパノラマ景観を形成しています。



エリア	舞洲
視点場	⑤大阪府咲洲庁舎展望台（コスモスクエア周辺）
景観の分類	眺望景観（見渡す眺め）・夜間景観（水辺のあたり）
景観特性	●高所から市街地を広範囲に俯瞰する眺望景観 高所から俯瞰する大規模な建造物を中心とした海辺のまちなみは、複雑な海岸線が景観に奥行きを与え大スケールなパノラマ景観を形成しています。



景観コラム ベイエリアにおける面的開発による一体的な眺望景観の形成

大阪市のベイエリアは、2025 年に開催される大阪・関西万博や IR（統合型リゾート）などの大規模な面的整備が予定されています。ベイエリアの開発は、ウォーターフロント開発ともいわれ、これまでも国内外で多くの事例が見られますが、計画的な大規模開発が行われる傾向から、ランドマークとなる大規模建築物の眺望景観が周辺に大きな影響を及ぼします。このようなベイエリアの面的開発においては、眺望景観も含めた計画的かつ一体的な景観誘導が求められます。

そこで、これまでのベイエリアにおける面的開発と眺望景観に配慮した二つの事例を紹介します。

一つ目は、米国ニューヨークのバッテリーパークシティです。建築デザインには 20 世紀中期に流行していたガラスを多用するモダニストなデザインではなく、古き良きニューヨークをイメージしたものとなっています。例えば住宅街区では、街区に面した壁面については、下層は暖色系のアースカラー、上層はレンガ使用を望ましいとし、下層と上層の見切りの軒の水平線を強調し、建物を視覚的に連続させ、個性と魅力を兼ね備えた景観を実現しています。

二つ目は、「みなとみらい」などベイエリア開発を進めている横浜市です。内港地域を対象として、眺望景観への配慮とした眺望点、船上からの景観を意識し、魅力ある景観を創るといった美港形成構想を策定しています。

以上より、大阪ベイエリアの面的開発における眺望景観形成には、周辺からの眺望を意識したランドマークとなる大規模建築物や土木構造物について、高質で魅力的なデザイン実現のための仕組みづくり、が必要と考えます。その際、周辺からの眺望を意識したランドマークとなる大規模建築物や土木構造物の魅力的なシルエットやファサードのデザイン、周囲の建築物や眺望を意識したスカイラインの形成、さらには夜間景観の創出など様々な観点を考慮することが望まれます。そのために、陸上、海上、空中からの眺望点による検討が考えられます。例えば、大阪市内や大阪湾岸地域の主要視点場、大阪湾岸や関西国際空港からの高速道路、船上（クルーズ船、シーバス、スーパーヨットなど）、空中（ヘリなど）の視点場による検討、さらには VR など ICT を活用した海上や道路上の連続的な視点変化による検討などが挙げられます。このように眺望景観にも配慮したベイエリアの面的整備を進めることにより、高質で新たな景観資源の創出に寄与できることを期待します。

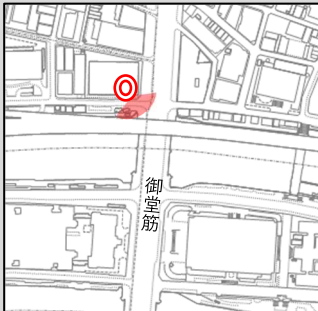
大阪市都市景観委員会（都市景観） 加賀 有津子（大阪大学大学院 工学研究科 教授）

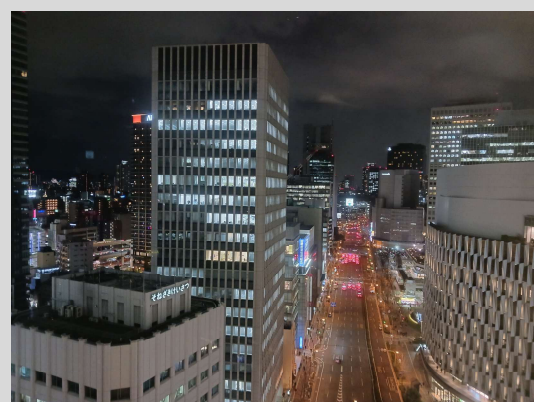
御堂筋とその沿道の例



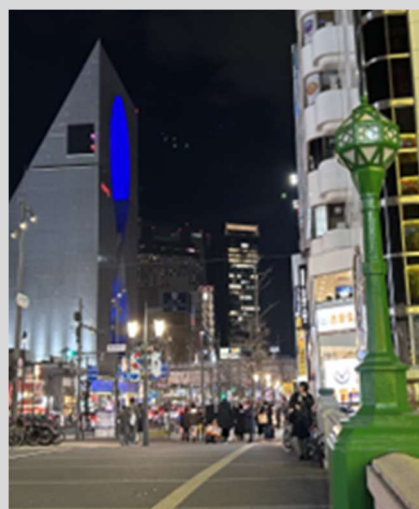
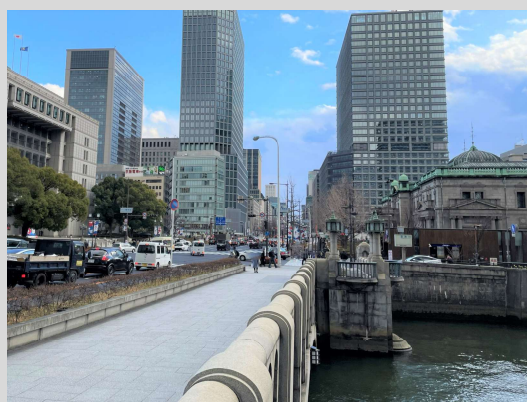
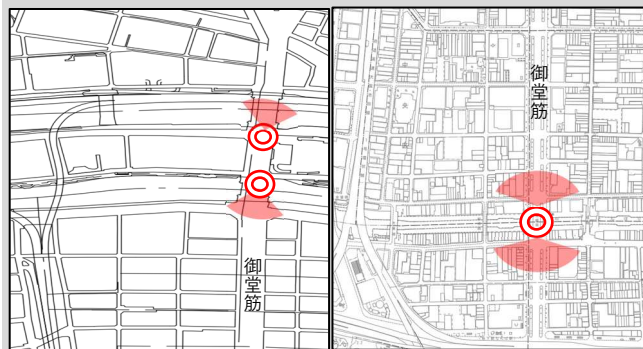
エリア	主要な視点場	配慮すべき主要な景観資源
梅田～難波	① 高層部のロビー空間から見渡す眺め ② 川べりから見る眺め（道頓堀川、中之島近辺） ③ アイストップとなるランドマークへの眺め（南海ビル等） ④ たまり空間から見通す眺め（なんば広場等）	御堂筋 淀屋橋 道頓堀 南海ビル
淀屋橋～難波	⑤ 御堂筋を見通す眺め（視点場の設定例） 1.歩道からの眺め （対象となるもの） a.歩道と一体となった低層部のにぎわい b.連続した壁面線 c.中高層部の連続した軒線・まちなみ （反対側歩道からの眺め） d.低層部・中高層部からなるファサード構成 （反対側歩道からの眺め） e.東西道路につながる街角 2.道路空間からの眺め 3.御堂筋及び東西方向の通りへとつながるまちなみの眺め 4.東西方向の通りから御堂筋への眺め	御堂筋 ・イチョウ並木 ・高さ 50m軒線 ・沿道建築物 （日本銀行大阪支店旧館、 大阪ガスビルディング、 北御堂、御堂ビル、南御堂、 大丸心齋橋店、南海ビル 等）

【代表的な視点場からみた景観の特性】

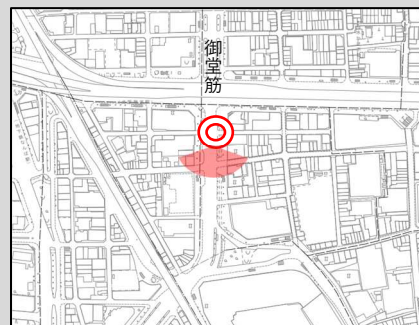
エリア	梅田～難波		
視点場	①高層部のロビー空間から 見渡す眺め		
景観の分類	眺望景観（見渡す眺め）・ 夜間景観（俯瞰するあかり）		
景観特性	高層ビルのロビー空間から望むことにより、御堂筋とその沿道の質の高い建築群が作り出すまちなみ景観を俯瞰的に見渡すことができます。		



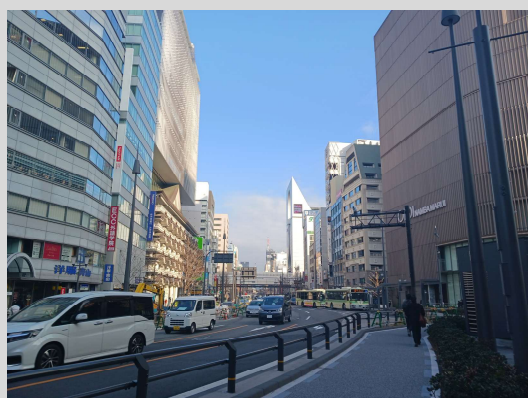
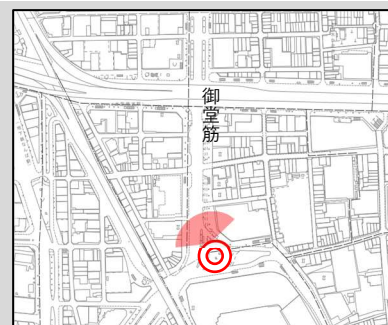
エリア	中之島～難波
視点場	②川べりから見る眺め
景観の分類	眺望景観（見渡す眺め）・ 夜間景観（水辺のあかり・境界の あかり）
景観特性	橋上から望むことにより、水 辺の景観と合わせて御堂筋とそ の沿道建築群を見渡すことがで きます。



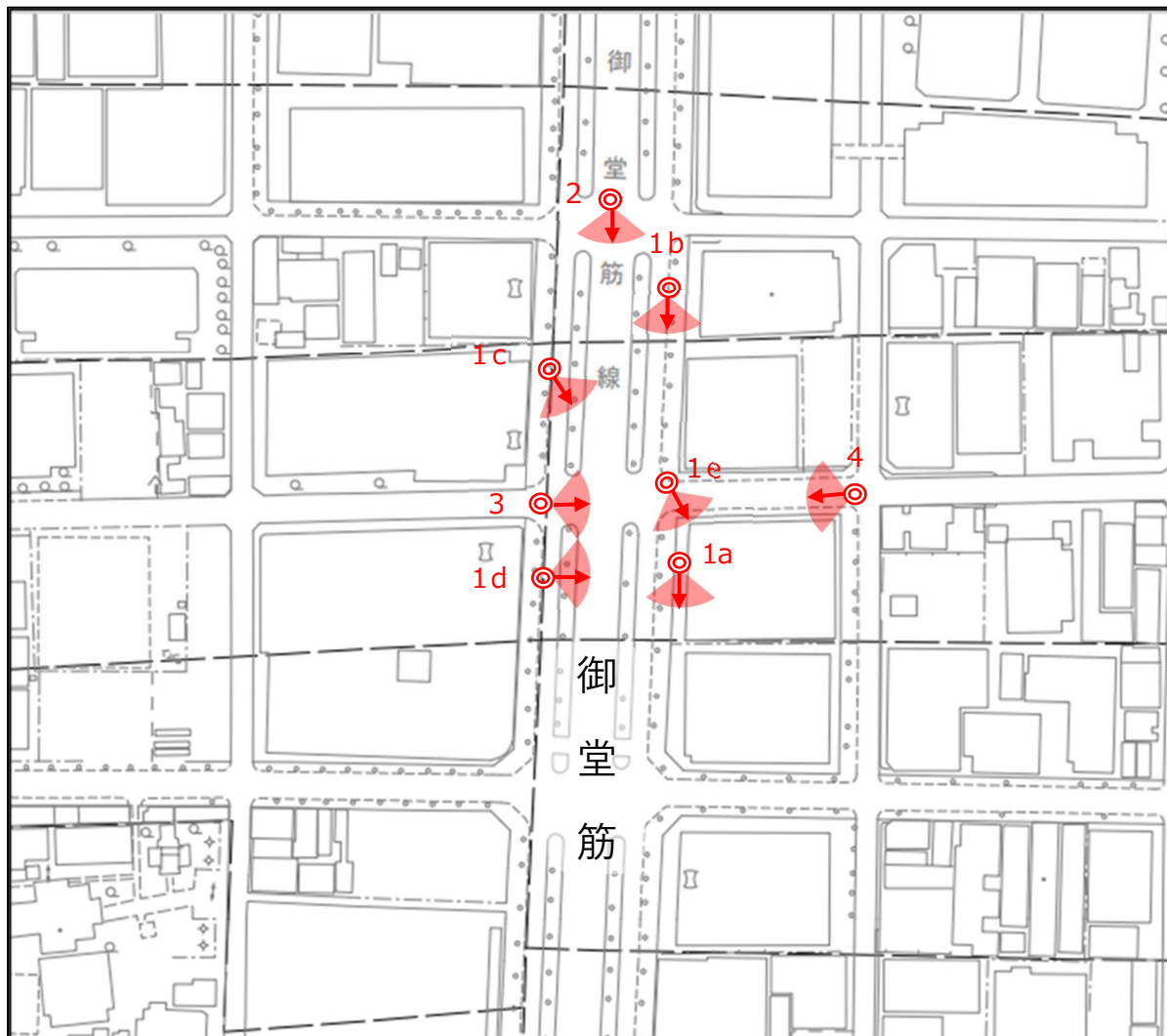
エリア	難波
視点場	③アイストップとなるランドマークへの眺め
景観の分類	眺望景観（ランドマークへの眺め）
景観特性	御堂筋の南端においては、通りの先に都市景観資源や国の登録有形文化財に登録される歴史的建造物（南海ビル）を望むことができます。



エリア	難波
視点場	④たまり空間から見通す眺め
景観の分類	眺望景観（見通す眺め）・夜間景観（界隈のあかり）
景観特性	御堂筋南端に位置し、人々が滞留するにぎわい空間となっているなんば広場から望むことにより、御堂筋とその沿道建物の秩序あるにぎわいが魅力的なまちなみ景観を形成しています。

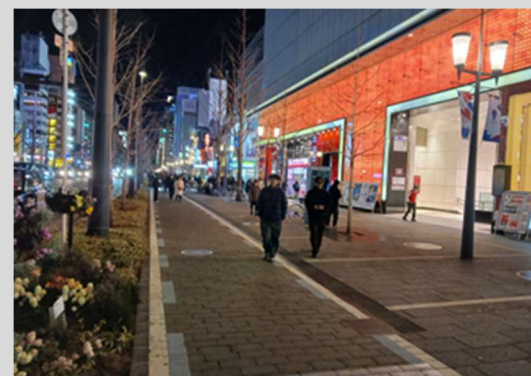
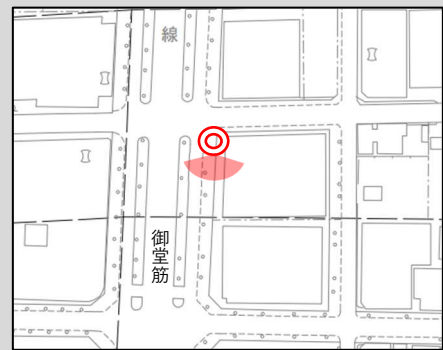


【⑤御堂筋を見通す眺め（視点場の設定例）】

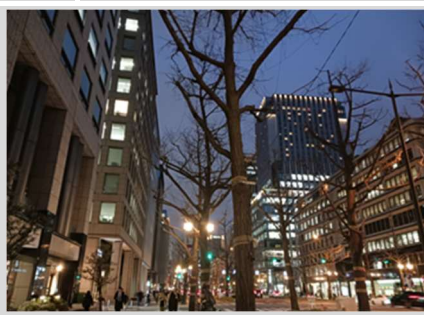


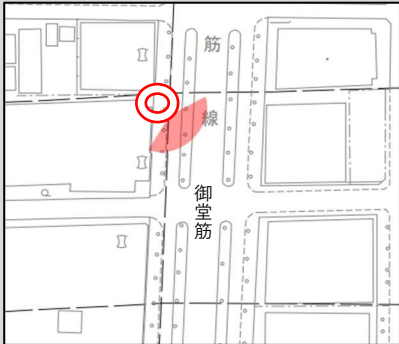
※上記の図及び p1-33～1-37 の図は、⑤「御堂筋を見通す眺め」を捉える視点場の設定例として、御堂筋と沿道敷地との関係性に着目したものであり、特定の地点を示すものではありません。

エリア	淀屋橋～難波
視点場	1.歩道からの眺め/a.歩道と一体となった低層部のにぎわい【近景】
景観の分類	眺望景観（見通す眺め）・ 夜間景観（個のあかり・境界のあかり）
景観特性	御堂筋の歩道と建物の低層部が一体となり、上質で個性豊かなデザインにより、歩いて楽しめる魅力あるまちなみ景観を形成しています。 ・土佐堀通～中央大通間では、歩道と壁面後退空間、及び建物低層部が一体となり、上質で魅力的なにぎわいを感じるまちなみ景観を形成しています。 ・心斎橋周辺は高級で魅力的なにぎわい、難波周辺は個性豊かなにぎわいを感じるまちなみ景観を形成しています。 ・御堂筋南端からは道路空間再編により歩行者空間の拡大やベンチの設置等の利活用が進んでいます。



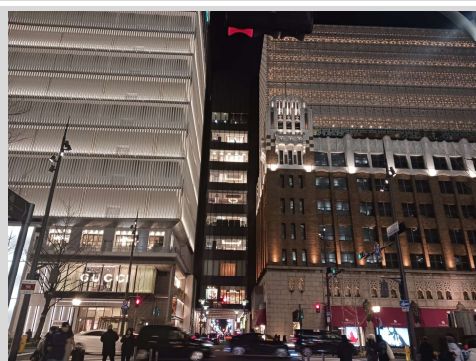
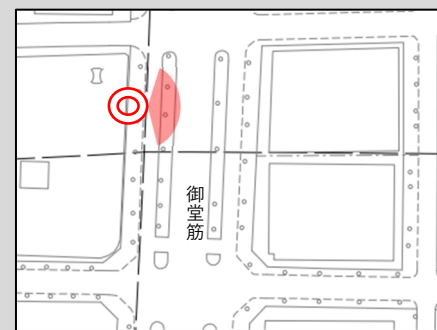
エリア	淀屋橋～難波	
視点場	1.歩道からの眺め/b.連続した壁面線【中景】	
景観の分類	眺望景観（見通す眺め）・ 夜間景観（個のあかり・境界のあかり）	
景観特性	建物側の歩道から中景を望むことにより、連続した壁面線による連続感や統一感のあるまちなみ景観を形成しています。 ・土佐堀通～中央大通間では、壁面後退による壁面線の統一により、整然とした御堂筋の特徴を継承した、風格あるまちなみ景観を形成しています。	



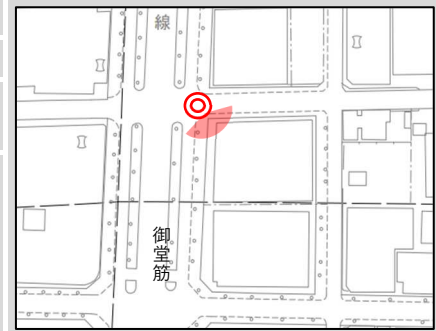
エリア	淀屋橋～難波	
視点場	1.歩道からの眺め/c.中高層部の連続した軒線・まちなみ（反対側歩道からの眺め）【中景】	
景観の分類	眺望景観（見通す眺め）・ 夜間景観（個のあかり・境界のあかり）	
景観特性	建物の反対側の歩道から中景を望むことにより、中高層部の連続した軒線や壁面線による統一感あるまちなみ景観を形成しています。 ・土佐堀通～中央大通間では、壁面後退による壁面線の統一と、高さ 50m の軒線によるスカイラインを形成し、整然とした御堂筋の特徴を継承した、風格あるまちなみ景観を形成しています。 ・沿道には近代建築物など歴史的景観資源が残され、また、これら資源との調和に配慮したまちなみ景観を形成しています。	



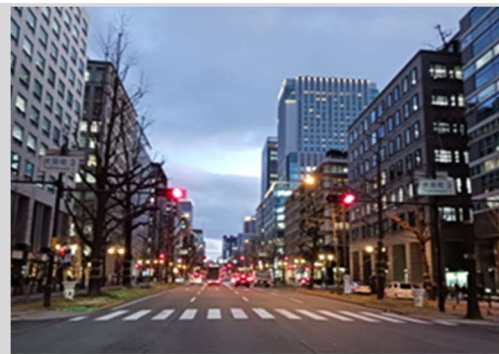
エリア	淀屋橋～難波
視点場	1.歩道からの眺め/d.低層部・中高層部からなるファサード構成（反対側歩道からの眺め）【中景】
景観の分類	眺望景観（見通す眺め）・ 夜間景観（個のあかり・境界のあかり）
景観特性	御堂筋の対面から望むことにより、落ち着きと風格のあるファサードやそれが連続することによる統一感のあるまちなみ景観を形成しています。 沿道には近代建築物などの歴史的景観資源やこれら資源との調和に配慮した建物や、個性ある質の高い外観の建物による魅力的なまちなみ景観を形成しています。



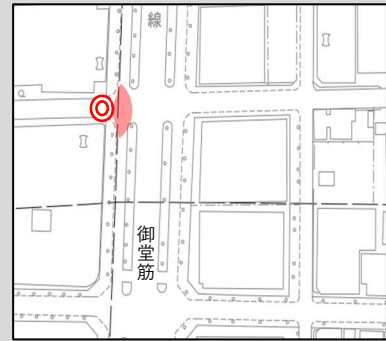
エリア	淀屋橋～難波
視点場	1.歩道からの眺め/e.東西道路につながる街角【近景】
景観の分類	眺望景観（見通す眺め）・ 夜間景観（個のあかり・界隈のあかり）
景観特性	御堂筋沿道の低層部の上質で個性豊かなデザインが東西方向の通りに回り込み、東西方向に人を誘うまちなみ景観を形成しています。 東西方向の通りの歴史や特徴に応じたしつらえ等により、通りごとの個性が感じられるまちなみ景観を形成しています。



エリア	淀屋橋～難波
視点場	2.道路空間からの眺め【中遠景】
景観の分類	眺望景観（見通す眺め）・夜間景観（界隈のあかり）
景観特性	4列のイチョウ並木と質の高い沿道建築群が作り出す空間構成により、大阪のシンボルストリートである御堂筋の特徴的なまちなみ景観を形成しています。 ・土佐堀通～中央大通間では、高さ50mの軒線によるスカイラインを形成し、整然とした御堂筋の特徴を継承したピスタ景を形成しています。



エリア	淀屋橋～難波
視点場	3.御堂筋及び東西方向の通りへとつながるまちなみの眺め【中景】
景観の分類	眺望景観（見通す眺め）
景観特性	御堂筋に出た街角から望むことにより、落ち着きと風格あるまちなみ景観が左右に広がっています。また、建物間の東西方向の通りへとつながる奥行のあるまちなみ景観を形成しています。



エリア	淀屋橋～難波
視点場	4.東西方向の通りから御堂筋への眺め【近中景】
景観の分類	眺望景観（見通す眺め）・ 夜間景観（個のあかり・境界のあかり）
景観特性	東西方向の通りから御堂筋の方を望むと、御堂筋沿道の低層部ににぎわいが、東西方向の通り沿いに回り込み、また、東西方向の通り沿いの並木の向こうに、御堂筋のイチョウの緑が連なるなど、御堂筋の気配を感じられるまちなみ景観を形成しています。

